

## 特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

## 【担当課：教育委員会事務局 教育政策課】

議 題	総合教育会議打合せ、教育ビッグデータ活用検討PT作業部会
日 時	令和3年6月24日(木) 13時00分～17時30分
場 所	大阪市役所 教育委員室
出 席 者	(特別顧問・特別参与) 大森特別顧問 (職員等) 理事兼政策推進担当部長、ICT推進担当課長、教育政策課長、総務部首席指導主事 他
論 点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回大阪市総合教育会議について</li> <li>・学力向上推進事業、経年調査、デジタルドリルについて</li> </ul>
主 な 意 見	<p>(第1回大阪市総合教育会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合教育会議では、事務局よりこの間の教育改革の取り組みの成果について、学力・問題行動に関する資料を分かりやすい数字で示し、議論を展開してほしい。</li> <li>・次期「大阪市教育振興基本計画」の中に盛り込むべき施策として、特別免許状の積極的活用による多様で高度な人材の確保と、誰一人取り残さない言語力・数理能力の育成とAI時代を切り拓く教育DXについて、それぞれ提案したいと考えている。</li> </ul> <p>(教育ビッグデータ活用検討PT作業部会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経年調査の結果について、上位の学校の中にも課題のある児童生徒がおり、訪問し、指導していく必要があるのではないかと。</li> <li>・課題のある層の児童生徒も含め、全体で学力の底上げが図れるような施策の検討を進めてもらいたい。</li> <li>・デジタルドリルについては、まず第1段階ですべての教員が操作方法を共有すべきである。平常時にも使えるよう、有効活用の事例など、手法を具体的に示す必要がある。</li> <li>・家庭でも児童生徒が自主的に取り組む時間が多くなるほうが良い。</li> </ul>

結 論	特別顧問の意見を踏まえ、検討を進める。
資 料	
関係所属	教育委員会事務局